

検討テーマ：「子どもの健全育成と高齢者の安心できる地域づくりについて」

(○：前回までの意見、■：今回出た意見、●：市長の発言)

	課題	方策
高齢者の見守り	<p>○向こう3軒両隣、負担にならない見守りをしたい。</p> <p>○高齢化。要援護者の救助は相当厳しい。自治会だけではフォローしきれないので、地域のつながりが大事。</p> <p>○実際の要援護者数はリストの数より、更に多いと思う。災害時、独居老人の情報は大切。ぜひ町内で把握しておいて欲しい。</p> <p>○高齢で出て来られない人が多く、今後老人クラブの活動ができるかどうか不安。</p> <p>○高齢者はなかなか心を開かない面がある。</p> <p>■地域の行事が優先で高齢者組織の有無、具体的な見守りなどは手つかずの状態。</p> <p>■光ヶ丘3町内で月に1度「ほほえみサロン」を民生委員6名で実施。15～30人と参加者が少ない。お年寄りの参加を増やしたいが難しい。</p>	<p>○光が丘県営住宅集会所では、月一回「ほほえみサロン」をやっていた。</p> <p>○富士ビレッジには12の市民活動の会がある。普段から交流することによって情報交換、見守りができるのではないかと。</p> <p>○自治会では個人情報保護法もあり、把握できない。民生員と町内会のつながりが必要。</p> <p>○老人クラブに気軽に参加しやすくなるよう、個々で選択できる様々な活動や関わり方があれば良いのではないかと。(料理、散歩、地域の子ども交流等)</p>
子どもと地域の交流	<p>○沢地小校区は子ども会が現在4つ。3つ程度減ってしまった。</p> <p>○子ども会活動を活発にして欲しい。入会しないのは親の問題。理解いただけるよう呼びかけをして欲しい</p> <p>■下校時は見守り時間が約2時間と長く、また見守りの方も少ない。下校時の見回りをどうにかして広めたい。散歩している人達にも声をかけたがなかなか難しい。</p>	<p>○「見守り隊」の方は非常にありがたい。子どもが子どもに声かけをしている。大人の行動が子どもに、しっかり伝わっている証拠。</p> <p>○共働きで忙しい家庭が増えている。子ども会役員の仕事軽減などを検討する。</p> <p>○老人会に子どもを預けるなど、他団体と連携が取れると良い。</p> <p>○老人会では、子ども会と夏休みに輪投げを予定している。子どもの人数も少ないと聞くが、なんとか小学生も入れて成功させたい。</p>

(○：前回までの意見、■：今回出た意見、●：市長の発言)

	課題	方策
地域の連携	<p>○消防車、救急車が来ない場合、どうしたらいいか8町内みんな考えていきたい。</p> <p>○地区の運動会の参加者が減っている。</p> <p>○若い世帯は何をすべきかを考えていかなければならない。若い世帯から地域とのきずなを作っていく。</p> <p>○沢地は三島大社のお祭りには関係がない。校区として、まとまりのある活動が出来ないか。</p> <p>■入院、または所在がわからない留守宅がある。近所の方は火事などの場合どうしたらいいのかという不安がある。</p>	<p>○防災訓練と同じように、小学校の運動場で8町内で踊りや合唱などで、きずなを深められないか。</p> <p>○体育振興会ではトリム事業を実施。色々な町内から参加者があるので、きずな作りの場としても利用して欲しい。</p> <p>○お年寄りと子どものふれあい交流の場を大切にする（太鼓や踊りの練習会等）。</p>

	当面の取組み	取組みの担い手／アイデア
高齢者の見守り	<p>○電気・郵便物・洗濯物のチェック</p> <p>■老人会は現在実質的活動がほとんどない状態で、班会議で対応を協議している。</p> <p>■自治会役員が老人会に入会してくれている。横の連携ができています。世帯数が少ないので連携しやすいという面がある。</p> <p>■民生委員と町内会との連携を深めたい。</p> <p>■高齢者のひきこもり対策を市・専門家から教えてほしい。</p> <p>■集まる場があることや、見守っているという情報を発信し続けることが大事。</p>	<p>■老人会という名称が嫌がられる。今は老人会と呼ばず、シニアクラブと呼んでいる。</p> <p>■見守りの内容をわかりやすく絵にしたチラシを全世帯に配布し、全体での高齢者の見守りをお願いしている。</p> <p>■近所の気遣いや、組長による回覧版の直接手渡しなど。</p> <p>●高齢者問題には民生委員が必要。町内会の総会に民生委員を呼んでいただきたい。</p> <p>●市は要援護者リストと笛を配布している。防災訓練時笛を吹いて音の確認をしてほしい。</p>

(○：前回までの意見、■：今回出た意見、●：市長の発言)

	当面の取組み	取組みの担い手／アイデア
子どもと地域の交流	<p>○ふれあいの場、行事を地域全体で実施。</p> <p>■毎夏、富士見台、光ヶ丘、千枚原の夏祭りに消防団として参加している。子ども達は地区を超えて来るので、沢地校区はつながりができていると感じる。防災訓練に小、中学生が出ることで防災意識が向上する。消防団も模範的な活動を実施していきたい。</p> <p>■子どもは地域の宝事業でクリスマス時期に赤ちゃんを迎えてお祝いしている。</p> <p>■子ども会存続があやうい時期があり、それ以来老人会との交流が途切れているが、町内会と子ども会が連携していれば再交流につながる。</p>	<p>■お年寄りとのふれあいの場を意図的に設置する必要がある。昔の遊びや戦争体験・前東京オリンピックの話など、子ども達にとってプラスになると思う。沢地地区の豊かな自然環境（ホテル等）も活かしたい。</p> <p>■今年度、長寿介護課で子育て支援ボランティア事業を実施している。光ヶ丘保育園では清掃や遊び、お茶やクッキング等、ボランティアの方が来てくれると非常に助かる。</p>
地域の連携	<p>○地区の運動会に子どもも高齢者も参加促進できるような競技を検討</p> <p>■1回目のトーク後、黄色いハンカチを全戸配布。配布時に住民台帳を自治会独自で作成し、子ども・高齢者の調査を実施。ほとんどの方は協力してくれた。</p> <p>■地域の運動会について、高齢者と子どもが交流する形の競技は難しいが、メディシンボール、輪投げ、ダルマ（ボール）運び、一升一杯リレー（一升瓶に水をリレーで入れる競技）、ゲートボールリレー、玉入れなどは可能。</p> <p>■8校区の盆踊り大会開催の提案をしたところ、小学校は下にあるが富士見台も光ヶ丘も高い所にあり、高齢者が参加できないのではという意見が多くあった。盆踊りの代わりに8町内で協力してできることを検討中（どんど焼きなど）。少しずつ積み重ねていき最終的に夏祭りが開催できれば一番いい。</p>	<p>■12月2日に沢地地区を巡るウォークラリー大会を開催予定。8町内を把握する意味でも重要。</p> <p>■2月23日は4校区のソフトバレーボール大会を開催予定。校区をこえた交流の良い機会になる。多数の参加をお願いしたい。</p> <p>■ウォークラリー開催時、危険個所を考えてコース設定すると、健康プラス防犯・防災というプレミアがつくイベントになるのではいか。</p> <p>■市営住宅は市とは別に毎月清掃活動がある。不参加者はお金を払うため皆参加する。顔を出すいい機会になっている。</p> <p>●健全育成会や保健委員との連携も考えると広がりが出る。</p>